

平成28年 9月 6日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (総会・第一部会第1回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成28年度総会及び第一部会第1回定例会議が、平成28年7月28日(木)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第1回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 仙台市青葉区本町3-3-1 TEL (022)225-2171 (代表)
(第一部会)

主任監査官	おの 小野寺	ひさし 壽 (内線2114)
入札契約監査官	いわむら 岩村	つよし 毅 (内線2220)
契約管理官	くろさわ 黒沢	いさむ 勇 (内線2222)
技術開発調整官	はらだ 原田	よしのぶ 吉信 (内線3120)

(第二部会)

契約管理官	なかしま 中嶋	かつまさ 勝正 (内線6221)
経理調達課課長補佐	やまだ 山田	こうへい 耕平 (内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会 総会 審議概要

開催日及び場所	平成28年7月28日(木) 東北地方整備局 第三会議室
委員	別紙-1 「委員名簿」のとおり
審議概要	<ul style="list-style-type: none">○ 総会においては、別紙名簿のとおり、委員長及び委員長代理の選任と各委員の部会所属を決定した。○ その他(報告事項)<ul style="list-style-type: none">(1) 平成28年度東北地方整備局の事業概要

別紙－1

平成28年度 東北地方整備局入札監視委員会 委員名簿

氏 名	職 業	役職・所属部会
いづみ だ しいげ み 成 美 泉 田 成 美	(国)東北大学 大学院 経済学研究科 教授	第一部会
い とう みつ ひろ 伊 東 満 彦	弁護士	委員長 第一部会
し ね お よう こ 牛 尾 陽 子	(公財)東北活性化研究センター フェロー	第一部会
これ かわ はる ひろ 是 川 晴 彦	(国)山形大学 人文学部 教授	第二部会
たか はし とし ひろ 高 橋 敏 彦	(学)東北工業大学 工学部 教授	委員長代理 第二部会
ひさ だ まこと 久 田 真	(国)東北大学 大学院 工学研究科 教授	第一部会
わが つま たかし 我 妻 崇	弁護士	第二部会

(五十音順:敬称略)

※東北地方整備局入札監視委員会について

- 東北地方整備局入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき設置されている第三者機関であり、次に掲げる事務を行います。
 - ① 当整備局が発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等に関し、入札・契約手続の運用状況等について報告を受ける。
 - ② 委員会が抽出した案件に関し、その内容の審議を行い、意見の具申又は勧告を行う。
 - ③ 入札・契約手続及び指名停止等に係る再苦情処理を行う。
- 委員会には、2つの部会が設置されており、第一部会は港湾空港関係事務を除く事項を、第二部会は港湾空港関係事務に係る事項を取り扱います。

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成28年7月28日（木） 東北地方整備局 大会議室		
委員	部会長 伊東 満彦【弁護士】 部会長代理 久田 真【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 【欠席】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】 委員 泉田 成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】		
審議対象期間	平成28年 1月 1日 ～ 平成28年 3月31日		
審議案件	総件数	9件	(別紙-1 審議案件一覧のとおり)
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不働状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	4件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	1件	
	随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙-2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙-3のとおり		

審議案件一覧

別紙-1

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	一関遊水地大林水門ゲート設備新設工事	機械設備工事	7	7	H28.2.3	(株)丸島アクアシステム	1,140,480	90.0	岩手

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	国道113号米沢管内橋梁補修工事	維持修繕工事	1	1	H28.3.7	小国開発(株)	88,560	98.7	山形
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	志津地すべり中沼沢川対策工事	一般土木工事	1	1	H28.3.28	渋谷建設(株)	63,180	98.9	新庄
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	成瀬ダム工事用道路外補修工事	維持修繕工事	9	7	H28.3.14	(株)鈴木建設工業	7,560	78.0	成瀬ダム
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	請戸川橋外補強補修工事	鋼橋上部工事	3	3	H28.3.24	(株)小野工業所	272,160	91.0	磐城国道

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	秋田県警察学校(15)体育館建築改修工事	建築工事	30	13	H28.2.16	(株)住建トレーディング	32,400	99.9	盛岡営繕

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型競争入札方式	下郷地区構造物設計業務	土木関係建設 コンサルタント	12	10	H28.3.25	セントラルコンサルタント(株)	16,848	74.3	郡山国道

入札方式	業務名	業種区分	/		契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	阿武隈川・名取川水系災害復旧計画検討業務	土木関係建設 コンサルタント	/		H28.3.28	(株)三協技術	16,848	99.8	仙台

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	蓄電池購入据付	物品の製造等	4	4	H28.1.27	日東通信(株)	3,078	29.4	北上川ダム統管

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<p>指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 社が2つの指名停止を受けているが、繰り返し指名停止を受けている場合、指名停止期間を長くするような措置はあるのか。 ・ B 社は課徴金減免制度の適用業者であることが公正取引委員会より公表されているということだが、この社に対して、国交省では指名停止期間が短縮されるのか。 ・ C 社が、参加業者を脅したとあるが、こういう事件に関して警察等との情報交換はどういう形で行っているのか。 ・ 反社会的勢力のチェックは、一般的には行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 社は安全管理措置の不適切による指名停止及び独占禁止法違反行為による指名停止と、それぞれ異なる措置要件のため、この場合、加算措置はない。例えば、指名停止期間満了後1年以内に同一の措置要件に該当した場合には、短期加算措置がある。 ・ 課徴金減免制度の適用業者である場合は、措置期間の短期の部分は2分の1になる。そのため、B社は本来指名停止期間が2ヶ月のところ、その半分の1ヶ月の措置としている。 ・ 指名停止措置については、報道や発注機関への問い合わせをしながら措置を行っている状況である。警察等へ情報収集するところまでは行っていない。 ・ 警察等から情報提供を受け、入札契約手続きのなかで行っている。
<p>談合情報等の対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 談合疑義案件のなかで、具体的な根拠を示し、緻密に検討のうえ、談合の疑いが払拭されなかったものを入札取りやめにした案件があったがそのような対応は良かったと思う。 	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 一関遊水地大林水門ゲート設備新設工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備の新設工事は良いが、維持修繕のような改修、メンテナンス工事となると、入札参加者が1者で落札率が高くなるイメージがあるが、このような新設工事の入札のときに、メンテナンスや改修を含めた内容の契約を行う事はできないものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理付きの発注方式はあるが、あまり運用はしていない。新設5年後～20年後の補修を見込んでとなるとなかなか想定しにくい。 ・ 水門ゲートの場合、新設した業者以外の業者がメンテナンスをやりにくいという事が推測される。

<ul style="list-style-type: none"> ・将来、改修工事を行うときに、1者入札を避けるような工夫しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスは損傷箇所や損傷度合等に様々な特性が点在している。また、まとめて発注するという方法もあるが、補修方法を理解した者が取らざるを得ないということになり、業者数が絞られると思う。
<p>2 国道113号米沢管内橋梁補修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁補修工事について、1者入札、落札率が高いというのは、国交省だけではなく、県や各自治体でもおきている現象ではないかと思う。原因として、業者が手一杯だという事のほか、予定価格の算出が、業者にとって少し厳しすぎるのではないか。 予定価格の算出方法の適切性について、定期的に見直すということも必要ではないかと思うが如何か。 ・橋梁補修工事の場合は、補修方法や箇所を特定して発注しているのか、それとも調査も含めて発注しているのか。 ・工事をやってみたら意外と深刻だったという事はあまりないのか。つまり、そういうリスクで入札を控えるということはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩掛かりについては、その状況に応じて調査をし、実態に合わせてやるように進めているところである。補修はどうしても手間暇がかかり、大規模工事に比べ利潤が少ないという実態かと思われる。 例えば三陸沿岸部であれば資機材の高騰、不足という状況が発生しやすいので、そのような場合は見積りの活用などの工夫をして、幅広く業者に参加していただくように取り組んでいるところである。 ・補修設計を終えて補修箇所を決めてから発注している。 ・橋梁点検を実施し損傷程度等を判定した後に、設計して発注しているので、基本的にはそういうことはない。
<p>3 志津地すべり中沼沢川対策工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・工事場所は峠を越えると庄内地域となるが、業者選定は山形地方生活圏となっている。庄内地域の業者も入札に参加出来ればもう少し競争性が確保できたのではないか。 このような1者入札で落札率が高いという工事が発生した場合、潜在的な競争性を確保するために、隣接する地方生活圏に参加資格要件の拡大を検討してもよいかと思うが。 ・山形県の関係では、このような現象が続いている印象がある。1者入札は競争性がない状況なので、少し工夫をしてたくさん入札に参加いただければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方生活圏については、20者から30者の確保ということで、山形地方生活圏を設定しているところ。庄内地方に本店があって山形地方生活圏に支店がある業者も入札に参加出来るが、参加してこないところを考えると、山形地方生活圏内の業者が地元精通しているのではないかと考えている。 単に山形県内に拡大しても、現状では参加者が増えるとは考えにくいと思う。 ・我々も問題意識をもって、山形県内の砂防、地すべり箇所のような山間僻地の工事について昨年からの積算の見直しを行い、若干改善が図られている。出来るところから改善をしていこうと思っている。
<p>4 成瀬ダム工事用道路外補修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加業者が7者と多く、落札率も非常に低いですが、入札参加業者が7者集まった要因はどういうことが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所が近接な場所にあるということと、工事の難易度が低く地元業者が参入しやすかったことが考えられる。

5 請戸川橋外補強補修工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格要件として、東北地方整備局管内と、広く設定しているが。 ・工種によって、地域要件を広くとったりするということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼橋の上部工においては、東北管内が標準となっている。 ・本件はメタルの橋のため、地域限定にすると、参加業者数が非常に少なくなってしまうということがある、東北管内としたものである。
6 秋田県警察学校（15）体育館建築改修工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札が不調となり指名競争入札に移行し、結局不落随契となったということで、予定価格が業者にとって厳しいのではないかという印象を受けるが、こういう状況を分析し、予定価格の算出方法が厳しいという状況であれば、見直しを検討していただきたい。 ・県警の施設を地方整備局が工事をするのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営繕の改修工事のため、手間がかかる等で業者も高めにに入れてくることが考えられるので、我々も、改修工事については単価の補正等で予定価格の見直しを行っているところである。 ・警察法第37条により警察学校の整備に係る経費については国が支弁できるとされている。
7 下郷地区構造物設計業務	
質問なし。	
8 阿武隈川・名取川水系災害復旧計画検討業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生から、契約成立に6ヶ月かかっているが。 ・金額は最初から提示したのか。 ・金額の妥当性の判断は 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の成立日が9月11日、正式な契約行為が3月28日に行われたものであり、6ヶ月間現地が放置されていた訳ではなく、様々な調査設計を行いそれに基づいて関係機関と災害復旧の協議等を行ってきた。1月に数量が固まり、2月以降に正式に契約手続きを行ったものである。 ・最初は業務内容について合意し、その後、見積りを依頼している。金額を事前に提示することはない。 ・提出いただいた見積書を参考に公表されている標準歩掛、その他作業内容を同種業務における実績を踏まえ予定価格を作成している。
9 蓄電池購入据付	
<ul style="list-style-type: none"> ・実勢価格を基に積算したが7割引ということで、今後継続的な取引等を求められることはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような事はない。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

橋梁補修工事や建築改修工事等の1者入札で、予定価格に非常に近い価格での落札があった。原因は、予定価格が安すぎる場所にあると思われるので、このような工種に関する予定価格の見直しの必要について検討をお願いする。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を図っていただきたい。

【当局からのコメント】

意見要望については、今後の入札・契約業務の参考にさせて頂きたい。

あわせて、本日の報告・議事の中で頂きました委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させて頂く。

また、さらなる透明性競争性の確保に努めて参りたい。

